

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組 (大)	取組 No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
65	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	1	フレイルチェック事業の推進	1	フレイルサポーターの養成	開催回数	B	2	2	確定	サポーター養成研修は予定通り開催できた。他の事業と連動させ、サポーターの勧誘を行うことができたが、養成者数は目標に届かなかった。引き続きサポーターを増やす工夫が必要である。	健康増進センター	
65	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	1	フレイルチェック事業の推進	1	フレイルサポーターの養成	サポーター人数		30	22	確定		健康増進センター	
66	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	1	フレイルチェック事業の推進	2	フレイルチェックの取組み	開催回数	C	23	23	確定	予定通り開催できた。参加者が減少傾向にあり、参加者を増やす工夫が必要である。	健康増進センター	
66	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	1	フレイルチェック事業の推進	2	フレイルチェックの取組み	チェック参加人数		460	322	確定		健康増進センター	
67	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	1	フレイルチェック事業の推進	3	フレイル予防の普及啓発	eスポーツ開催回数	B	12	10	確定	1会場で新しい社会参加の場をつくることができた。地域でのイベントにeスポーツを教えるボランティアとして参加することができた。	健康増進センター	
67	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	1	フレイルチェック事業の推進	3	フレイル予防の普及啓発	参加者数		180	193	確定		健康増進センター	
68	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	2	集中型介護予防教室「はつらつ教室」の充実	1	はつらつ教室 フレイル予防コース	開催回数	A	75	76	確定	予定通り開催できた。参加者が大幅に増加した。今後も高齢者あんしん相談センターと連携を図っていく。	健康増進センター	
68	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	2	集中型介護予防教室「はつらつ教室」の充実	1	はつらつ教室 フレイル予防コース	延べ人数		1,200	1,452	確定		健康増進センター	
68	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	2	集中型介護予防教室「はつらつ教室」の充実	2	はつらつ教室 オーラルフレイル予防コース	開催回数	B	10	10	確定	予定通り開催できたが、参加者が目標値に届かなかった。今年度は健康朗読を取り入れたので、内容の周知も検討していく。	健康増進センター	
68	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	2	集中型介護予防教室「はつらつ教室」の充実	2	はつらつ教室 オーラルフレイル予防コース	延べ人数		150	105	確定		健康増進センター	
68	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	3	各種介護予防教室の充実	1	腰痛・ひざ痛予防コース	開催回数	B	10	10	確定	予定通り開催できたが、参加者が目標値に届かなかった。介護予防教室の開催について検討が必要である。	健康増進センター	
68	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	3	各種介護予防教室の充実	1	腰痛・ひざ痛予防コース	延べ人数		150	96	確定		健康増進センター	
69	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	3	各種介護予防教室の充実	2	ウォーキング教室	開催回数	C	5	4	確定	参加者が目標値に届かなかったが、自主グループを新しくつくることができた。	健康増進センター	
69	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	3	各種介護予防教室の充実	2	ウォーキング教室	延べ人数		125	65	確定		健康増進センター	
69	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	4	高齢者のための健康相談等の開催	1	高齢者サロン等での健康相談・健康講座	健康相談回数	B	15	13	確定	高齢者サロン等から依頼があり健康相談を実施した。気軽に相談できる機会を確保していく。	健康増進センター	

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組 No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
69	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	4	1	高齢者サロン等での健康相談・健康講座	健康相談延べ人数		150	140	確定		健康増進センター	
69	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	4	1	高齢者サロン等での健康相談・健康講座	健康講座回数	B	40	51	確定	高齢者サロンや老人クラブから依頼があり健康講座を実施した。今後も身近な集いの場でフレイル予防等の普及啓発を行っていく。	健康増進センター	
69	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	4	1	高齢者サロン等での健康相談・健康講座	健康講座延べ人数		1,000	1,367	確定		健康増進センター	
70	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	4	2	ホッと安心健康相談	開催回数	B	35	35	確定	介護予防拠点施設3会場で実施した。気軽に相談できる機会を確保していく。	健康増進センター	
70	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	4	2	ホッと安心健康相談	延べ人数		280	203	確定		健康増進センター	
70	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	5	1	特定健康診査と特定保健指導		B				令和6年度の特定健診の受診率は42.6%、特定保健指導の実施率は21.8%だった。令和7年度の実施率が確定するのは、令和8年11月ころとなります。	健康増進センター	保険年金課
70	1	健康長寿で生活を送るために	1	◎	元気なうちからの取組みの推進	5	2	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業	保健指導人数	B	60	54	確定	「低栄養」や「高血糖未受診者」等に訪問等で個別支援し、介護予防教室への参加や受診勧奨を行った。	健康増進センター	保険年金課
72	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	1	1	ふじみパワーアップ体操地域クラブの拡充	クラブ数	B	58	56	確定	新たに2クラブが立ち上がり、年度末にはもう1クラブできた。	健康増進センター	
72	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	1	1	ふじみパワーアップ体操地域クラブの拡充	参加人数		1,200	1,236	確定		健康増進センター	
72	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	1	2	地域自主活動の支援	グループ数	B	35	39	確定	はつらつ教室フレイル予防コース修了後に新たな自主グループをつくることができた。	健康増進センター	
72	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	1	2	地域自主活動の支援	参加人数		350	378	確定		健康増進センター	
73	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	1	3	高齢者いきいきふれあいセンターの管理・運営	開催日数	B	242	242	確定	ふじみパワーアップ体操地域クラブや自主グループ活動、eスポーツクラブの活動場所として利用されている。	健康増進センター	
73	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	1	3	高齢者いきいきふれあいセンターの管理・運営	利用人数		3,630	3,669	確定		健康増進センター	
73	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	1	4	市内介護予防拠点施設での活動の充実		B				鶴瀬公民館いきいき活動室でeスポーツ講座を開催し、新たな自主活動を増やすことができた。	健康増進センター	
74	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	2	1	自立支援・重度化防止に向けた取組み	延べ人数	B	30	25	確定	作業療法士が要介護等の認定を受けている方などの相談を受け、心身機能等をアセスメントし、福祉用具やサービス利用について助言した。	健康増進センター	
74	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	2	2	要介護者等に対するリハビリテーションサービスの提供体制の構築	回数	B	1	1	確定	リハビリテーション職が所属する事業所、医療機関と連携を図るため、地域リハビリテーション連絡会を開催した。医療機関のリハ職が介護予防教室を見学したり、医療機関に介護予防事業のチラシを配架するなどへつながった。令和8年度から実施するリハ職との同行訪問へとつながった。	健康増進センター	
74	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	2	3	介護予防手帳の活用		B				健康管理に役立てられるよう、フレイルチェック測定会や介護予防教室修了後に渡している。	健康増進センター	
75	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	2	4	リハビリテーション専門職等による自立支援に向けた取組みの強化		B				地域ケア会議等にリハビリ専門職が参加し顔の見える関係づくりを行うことで、高齢者あんしん相談センターとの連携が強化され、同行訪問によるアセスメントを実施し、自立支援の考え方を共有できた。	健康増進センター	

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組 No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度 の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
76	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	3	1	介護予防・日常生活支援総合事業の充実	A3	B	7	7	確定	A2の事業所が令和6年4月に2事業所廃止になった。今後、事業所数が減らないよう介護人材確保につながる取組の継続が必要と思われる。	地域包括ケア係	
76	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	3	1	介護予防・日常生活支援総合事業の充実	A2		4	3	確定		地域包括ケア係	
76	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	3	1	介護予防・日常生活支援総合事業の充実	A7		14	12	確定		地域包括ケア係	
76	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	3	1	介護予防・日常生活支援総合事業の充実	A6		6	5	確定		地域包括ケア係	
76	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	3	1	介護予防・日常生活支援総合事業の充実	C		9				地域包括ケア係	
77	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	3	2	介護予防・日常生活支援総合事業の充実		B				生活支援コーディネーターと連携し、町会長、シルバー人材センターに打診を行った。	地域包括ケア係	
77	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	3	3	介護予防・日常生活支援総合事業の充実		B				令和7年度から水谷東地域支え愛隊による移動支援が始まった。さらに、サービスBによる移動支援について検討している。	地域包括ケア係	
78	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	3	4	介護予防・日常生活支援総合事業の充実	実人数	C	45	25	確定	基本チェックリストを活用した、事業対象者となった方は見込みよりも少なかった。令和7年度は包括職員、生活支援コーディネーター、健康増進センターリハ職とともに、基本チェックリストの活用について検討を行い、受付体制を見直すこととした。令和8年度より新規申請時において、原則、全員へ時基本チェックリストの実施を予定。	地域包括ケア係	

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組 (大)	取組 No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度 の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
79	1	健康長寿で生活を送るために	2	◎	介護予防・重度化防止の推進	3	介護予防・日常生活支援総合事業の充実	5	一般介護予防事業の充実		B				普及啓発事業として介護予防教室を開催し、その後地域介護予防活動支援事業として自主活動につなげることができた。	健康増進センター	
80	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	1		重層的・包括的な相談支援体制の強化	1	地域包括支援センター機能の充実	1	総合相談支援		B				実際に各地域で孤立している、高齢者の実態把握に努め、また地域の関係者とのネットワーク拡充に努め、高齢者だけでなく経済的困窮者、独居者、ひとり親家庭やこれらが複合したケースなどにも対応。今後も地域の拡充に努め関係機関との連携を図っていく。	地域包括ケア係	
80	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	1		重層的・包括的な相談支援体制の強化	1	地域包括支援センター機能の充実	2	権利擁護							地域包括ケア係	
81	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	1		重層的・包括的な相談支援体制の強化	1	地域包括支援センター機能の充実	3	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務						ケアマネ研修会、クラージュを開催した。	地域包括ケア係	
81	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	1		重層的・包括的な相談支援体制の強化	1	地域包括支援センター機能の充実	4	介護予防ケアマネジメント						介護予防や生活支援サービス事業を利用する要支援者や事業対象者に対して、地域包括支援センターがアセスメントを行いケアプランを作成し生活上の困りごとなどを把握し、具体的な生活ができるよう支援してきた。	地域包括ケア係	
84	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	1		重層的・包括的な相談支援体制の強化	2	地域包括支援センターの適切な運営及び評価	0	地域包括支援センターの適切な運営及び評価						第1回、第2回の介護保険事業推進委員会において予算・活動予定、決算・実績報告を行った	地域包括ケア係	
85	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	1		重層的・包括的な相談支援体制の強化	3	地域ケア会議の推進	1	地域ケア個別会議						年間3回開催される会議、各圏域での事例対象者について、自立支援に資するケアマネジメントの実践に必要な環境について話し合い、確認していった。	地域包括ケア係	
85	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	1		重層的・包括的な相談支援体制の強化	3	地域ケア会議の推進	2	介護予防支援地域ケア会議						高齢者個人の個別課題やケアマネジメントの実践における課題の抽出を行い、いくつかのケースにおいて共通の課題が見られる内容については、地域課題として地域資源の開発などの政策形成に向けた課題の抽出を行った。 今後も地域課題の解決に向けて事業に取り組んでいく。	地域包括ケア係	
85	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	1		重層的・包括的な相談支援体制の強化	3	地域ケア会議の推進	3	地域ケア圏域会議						地域の課題等をテーマに開催する会議に地区担当者が出席し意見交換や課題等の共有を行った。地域では高齢者の移動支援が課題となっており、令和7年度に水谷東支え愛隊の総合事業サービス・活動Aに関する事例について報告を行った。 令和8年度は、ケアマネのシャドーワークとして実施せざるを得ない頼れる身寄りのない高齢者等の抱える生活課題について、地域課題として議論を行う必要がある。	地域包括ケア係	
85	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	1		重層的・包括的な相談支援体制の強化	4	重層的な支援体制に向けたネットワークの充実	0	重層的な支援体制に向けたネットワークの充実		B				【福祉政策課】 複雑化・複合化した福祉課題や制度の狭間の問題に対応するため、庁内外の相談支援機関による支援会議を開催することで多機関で連携して課題解決に取り組んだ。 また、更なる連携体制の強化・支援者同士の顔の見える関係性づくりの一環として庁内勉強会などの研修の機会の提供に取り組んだ。 今後の課題としては、支援対象者が社会復帰する過程での居場所づくり、支援手段の増を目的とした地域資源の開拓と共有を図る必要がある。	高齢者支援係	福祉政策課

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 （大） No	取組（大）	取組 No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度 の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
86	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	1	配食サービス事業	延べ利用食数		25,500	12,459	確定		高齢者支援係	
86	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	2	寝具乾燥サービス事業	延べ利用回数		1,867	978	確定		高齢者支援係	
87	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	3	緊急時連絡システム事業	実人数	D	355	283	確定	緊急時連絡システムの貸与を実施。施設入所や死亡に伴う停止数が新規利用申請者数を上回り、過去8年以上減少傾向にあるが、必要な方が利用できる体制の維持を続ける。	高齢者支援係	
87	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	3	緊急時連絡システム事業	内障がい者数		23	14	確定		高齢者支援係	
88	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	5	救急連絡カードの活用		B				救急連絡カードを包括や民生委員に周知し、対象者に配布した。	高齢者支援係	福祉政策課
88	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	6	ふれあい収集事業	人数	C	180	123	確定	高齢者や障がい者のみの世帯で、自力でゴミを集積所へ搬出することが困難な世帯へ週1回ゴミを戸別収集するとともに安否確認を実施。利用者数の増加を想定し、令和6年度から火・木曜日以外に、水曜日を追加した。令和7年度の利用者数は減少となったが、一時的な状況であることも考えられることから、現状維持となる体制とする。	高齢者支援係	環境課
88	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	7	紙オムツ支給（家族介護用品給付）事業	支給実人数	B	270	290	確定	令和6年度から市町村特別給付に移行し、対象者を要介護3以上から要介護1以上に拡大したため、目標値を大きく上回っているが、停止の人数も多く、述べ人数は計画値を下回った。	高齢者支援係	
88	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	7	紙オムツ支給（家族介護用品給付）事業	支給延べ人数		2,430	2333	確定		高齢者支援係	
89	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	8	自立支援型ショートステイサービス事業	実人数（新規）	E	2	0	確定	介護サービス費の支給対象とならない高齢者の養護老人ホームへの短期間の入所を実施。利用日数は原則7日を限度としている。本事業は虐待による一時避難としての利用を想定しているが、令和7年度は利用の必要な方はいなかった。引き続き、虐待等の緊急時に必要な方が利用できる体制の維持を続ける。	高齢者支援係	
89	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	8	自立支援型ショートステイサービス事業	日数		90	0	確定		高齢者支援係	
89	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	9	認知症高齢者見守り訪問事業	実人数	B	17	10	確定	在宅生活が続けられるよう定期的な訪問に加え、対象者の状況に合わせた訪問や電話連絡などを行った。	高齢者支援係	
89	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	9	認知症高齢者見守り訪問事業	延べ人数		140	59	確定		高齢者支援係	
89	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	10	市内循環バス特別乗車証交付	交付枚数	C	4,200	2707	確定	【都市計画課】 慢性的な運転手不足の状況が続いているが、バス運行事業者等と協議・調整し、公共施設や駅などへの交通手段としての市内循環バスを維持・継続できるよう取り組んできた。引き続き、維持・継続できるよう取り組むとともに、本市にとって適切で望ましい地域公共交通ネットワークのあり方を検討していく必要がある。	庶務係	都市計画課

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組 (大)	取組 No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度 取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
90	2	住み慣れた地域で安心・安全 な生活を続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	11	家具転倒防止器具等取付事業		B				取組状況：家具転倒防止器具の取付×1件 今後の課題：申請数の低下や近年発災している 災害を鑑みて、新しい支援対策を考える。	高齢者支援 係	危機管理課
90	2	住み慣れた地域で安心・安全 な生活を続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	12	振り込み詐欺等対策機器購入費 補助金		B				令和6年度同様、青バト講習会での紹介に加 え、年末街頭キャンペーンにて補助制度のチラ シを配布し、市民から詐欺等の情報提供があつ た際にも積極的に紹介したが、令和7年度の補 助件数は20件（2月末現在）と、昨年より少な く、例年並みの件数となっている。手口の巧妙 化などにより、振り込み詐欺の被害は増加傾向 にあるため、今後も広く周知し、補助件数をさ らに増やしていく。	介護保険係	協働推進課
90	2	住み慣れた地域で安心・安全 な生活を続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	1	在宅生活を支える施策の充実	13	聴力低下への支援		B				聞こえのフレイルについて市HPに掲載し、後期 高齢者健康診査のご案内に加齢性難聴について の記事を掲載し周知を図った。 令和8年度から助成金制度を創設するため、そ の準備事務を行った。	高齢者支援 係	健康増進セ ンター増進 センター、 保険年金課
92	2	住み慣れた地域で安心・安全 な生活を続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	2	介護者等（ケアラー・ヤングケ アラー）への支援	1	介護者教室の開催		B				各高齢者あんしん相談センターが地域の実情ん 医合わせて開催した。	高齢者支援 係	※担当は地 域包括ケア 係
92	2	住み慣れた地域で安心・安全 な生活を続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	2	介護者等（ケアラー・ヤングケ アラー）への支援	2	老人介護手当支給事業	実人数	D	157	109	確定	保険料の賦課が第1～3段階に区分される市町村 非課税世帯で要介護3以上の認定を受けた高齢 者を在宅で介護している方に月額5,000円を支給 している。要介護3以上かつ非課税世帯の者は 増加傾向だが、施設入所や死亡等により新規申 請よりも停止した者の数が上回り、減少傾向に ある。必要な方が利用できる体制の維持を続け るとともに、手当の使用目的や効果について研 究していく。	高齢者支援 係	
92	2	住み慣れた地域で安心・安全 な生活を続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	2	介護者等（ケアラー・ヤングケ アラー）への支援	2	老人介護手当支給事業	延べ人数		1,201	897	確定		高齢者支援 係	
93	2	住み慣れた地域で安心・安全 な生活を続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	3	介護離職ゼロに向けた支援の充 実	1	介護サービス等の公的支援策の 充実						令和7年12月から住宅型有料老人ホームファミ リー・ホスピス富士見ハウス(定員36人)が開 設され、入所待機者が減少し、介護離職の防止に 一定程度寄与できたと考えられる。今後は、 ニーズ調査に合わせた調査を実施するなど、介 護人材の需給を把握することが課題である。 また、市内介護保険事業所に対し介護保険サー ビス事業所安定化交付金を交付し光熱費等の物 価高騰対策を図った。	地域包括ケ ア係	
93	2	住み慣れた地域で安心・安全 な生活を続けるために	2		在宅高齢者支援の推進	3	介護離職ゼロに向けた支援の充 実	2	相談支援体制の充実		B				職場環境の改善につながる取組として、県が実 施する労働セミナーや相談窓口の周知及びチラ シ・ガイドブック等の配架を実施した。また、 求職者を対象とした市主催の就職支援講座にお いても、介護休業法など労働法に関する情報提 供を行った。 今後も県や他自治体と連携し、情報発信を続け る必要がある。	地域包括ケ ア係	産業経済課
94	2	住み慣れた地域で安心・安全 な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	1	認知症初期集中支援チームの取 組み	0	認知症初期集中支援チームの取 組み	相談実人数	C	11	10	確定	チーム員会議を活用し、対象ケースの検討や多 職種間の連携・役割分担を協議した。引き続 ぎ、チーム員が連携を図りながら支援を行って いく。継続支援対象ケースが多く新規相談ケ ースが少ない傾向にあるため、関係者に認知症初 期の支援事業を継続して周知する。	高齢者支援 係	
94	2	住み慣れた地域で安心・安全 な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	1	認知症初期集中支援チームの取 組み	0	認知症初期集中支援チームの取 組み	チーム活動件数		150	108	確定		高齢者支援 係	

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組（大）	取組 No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
94	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	1	認知症初期集中支援チームの取組み	0	認知症初期集中支援チームの取組み	チーム会議開催回数		24	10	確定		高齢者支援係	
95	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	2	認知症ケア相談室の設置	0	認知症ケア相談室の設置	相談件数	B	5	2	確定	認知症に関する相談はケアに限らないことから、相談実績に反映されない。	高齢者支援係	
95	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	3	認知症地域支援推進員の活動	0	認知症地域支援推進員の活動		B				毎月推進員会議を開催、アルツハイマー月間イベント、チームオレンジミーティング、認知症ケアバス作成を実施。認知症本人ミーティングは試験的に2回実施。認知症施策推進基本計画に基づき、認知症本人ミーティングの充実など本人参画の機会づくりが課題である。	高齢者支援係	
95	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	4	若年性認知症や高次脳機能障がいの人等に対する相談支援・社会参加支援	0	若年性認知症や高次脳機能障がいの人等に対する相談支援・社会参加支援							高齢者支援係	
96	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	5	認知症予防に関する取組み	0	認知症予防に関する取組み							高齢者支援係	
96	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	6	認知症の方やその家族を支える取組み	2	徘徊高齢者等ステッカー配布	実利用人数	D	155	126	確定	ステッカー配布事業を実施。二次元バーコードタイプのステッカーの導入に向けて、外部サービス利用に係るサービスレベル合意書（SLA）等について事業者と協議。事業者とSLAを締結できない場合は類似サービスを研究する。	高齢者支援係	
96	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	6	認知症の方やその家族を支える取組み	2	徘徊高齢者等ステッカー配布	新規利用開始人数		25	21	確定		高齢者支援係	
97	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	6	認知症の方やその家族を支える取組み	3	オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催	回数	B	37	34	確定	各包括主催で概ね計画通り実施。また、アルツハイマー月間のイベントとして、チームオレンジと協働で合同オレンジカフェを行った。	高齢者支援係	
97	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	6	認知症の方やその家族を支える取組み	3	オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催	参加人数		360	423	確定		高齢者支援係	
98	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	6	認知症の方やその家族を支える取組み	4	チームオレンジの構築		B				認知症サポーターフォローアップ研修（ステップアップ研修）の受講者と認知症推進員とともにチームオレンジを結成。認知症基本法に示される「新しい認知症観」の普及啓発のため、9月のアルツハイマー月間にて合同オレンジカフェを開催。活動の充実やチームの拡大が課題。	高齢者支援係	
99	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	7	認知症に関する普及啓発の推進	1	認知症ケアバスの作成		B				詳細版を作成。	高齢者支援係	
99	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	7	認知症に関する普及啓発の推進	2	認知症サポーター養成講座の開催	開催回数	D	25	5	確定	小中学校、高校、放課後児童クラブ、民生委員等に対して開催。回数及びサポーター養成者数が大幅に減少した理由として、チームオレンジやや本人ミーティングといった新たな活動に注力したことが要因と考える。	高齢者支援係	

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組 (大) No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度 の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
99	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	7	認知症に関する普及啓発の推進	2 認知症サポーター養成講座の開催	受講サポーター数		455	100	確定		高齢者支援係	
99	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	7	認知症に関する普及啓発の推進	2 認知症サポーター養成講座の開催	受講サポーター数（延べ人数）		6,068	5773	確定		高齢者支援係	
100	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	7	認知症に関する普及啓発の推進	3 認知症サポーターフォローアップ講座（ステップアップ講座）の開催	開催回数	C	2	1	確定	チームオレンジの形成を行ったため、フォローアップ講座の開催は1回となった。チームオレンジとの兼ね合いで講座を開催していく。	高齢者支援係	
100	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	3		認知症施策の推進	7	認知症に関する普及啓発の推進	3 認知症サポーターフォローアップ講座（ステップアップ講座）の開催	受講人数		50	16	確定		高齢者支援係	
101	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	4	◎	在宅医療・介護連携の推進	1	医療・介護に関する相談支援	0 医療・介護に関する相談支援	相談件数（富士見市分）	B	180	55	確定	住民及び関係機関に、医療に関する相談窓口として東入間医師会地域医療介護相談室を周知した。また、相談室主催の在宅での看取りについての映画上映に協力し、ACP（人生会議）の普及啓発を行った。	高齢者支援係	
101	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	4	◎	在宅医療・介護連携の推進	2	医療関係者と介護関係者との連携	0 医療関係者と介護関係者との連携	医療と介護連携会議開催回数	B	60	30	確定	二市一町の特養担当者と行政による連携会議を初めて開催し意見交換を行ったが、今後も幅広い関係機関との連携が必要である。	高齢者支援係	
101	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	4	◎	在宅医療・介護連携の推進	2	医療関係者と介護関係者との連携	0 医療関係者と介護関係者との連携	参加人数		100	92	確定		高齢者支援係	
101	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	4	◎	在宅医療・介護連携の推進	2	医療関係者と介護関係者との連携	0 医療関係者と介護関係者との連携	多職種研修開催回数		3	2	確定		高齢者支援係	
101	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	4	◎	在宅医療・介護連携の推進	2	医療関係者と介護関係者との連携	0 医療関係者と介護関係者との連携	参加人数		400	307	確定		高齢者支援係	
102	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	4	◎	在宅医療・介護連携の推進	3	入退院支援の取組み作成	0 入退院支援の取組み作成		B				医療と介護関係者に入退院時連絡シートの活用状況の中間調査を実施し、周知されつつあるが十分でない状況が分かった。	高齢者支援係	
102	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	4	◎	在宅医療・介護連携の推進	4	在宅医療・介護に関する普及啓発の取組み	0 在宅医療・介護に関する普及啓発の取組み		A				市主催の市民講座と包括主催によるサロン等での医師又は看護師による講座を3回開催し、ACPの周知を行った。市民講座は年1回開催しているが、申し込みが20人程度と少ないため周知方法や期間の検討が必要である。	高齢者支援係	
103	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	5		権利擁護の推進	1	成年後見制度の利用促進	1 成年後見制度の普及		B				成年後見制度に関する講座を市民向け、支援者向けそれぞれ1回ずつ開催した他、協働によるまちづくり講座を2回開催した。	高齢者支援係	
103	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	5		権利擁護の推進	1	成年後見制度の利用促進	2 地域連携ネットワークづくりの推進		B				成年後見制度利用促進協議会を4回開催し、地域における制度利用の課題等について情報・意見交換を行った。	高齢者支援係	
104	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活を続けるために	5		権利擁護の推進	1	成年後見制度の利用促進	3 中核機関の充実	相談実人数	A	139	158	確定	中核機関や成年後見制度の普及に伴い、相談件数が上回った。繰り返し支援が必要なケースが多い一方で初回相談も増加傾向にある。また、令和8年度からの中核機関人員体制の拡充のための準備事務を行った。	高齢者支援係	

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組 (大) No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度 の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
104	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	5		権利擁護の推進	1	成年後見制度の利用促進	3 中核機関の充実	相談延べ件数		476	764	確定		高齢者支援係	
104	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	5		権利擁護の推進	1	成年後見制度の利用促進	4 市民後見人養成講座の開催		B				3年に1回の開催予定であり、計画期間中は令和5年度に実施したほか、埼玉県主催の養成研修に富士見市民が参加できるよう県と連携した。	高齢者支援係	
105	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	5		権利擁護の推進	1	成年後見制度の利用促進	5 成年後見制度利用支援事業の推進	市長申立件数	A	8	9	確定	中核機関への相談件数増加に伴い、市長申立ての相談件数も増えている。令和7年度申立て予定(調査中)のケースは実績値の他に9件あり、調査に日数を要してしまうことが課題である。	高齢者支援係	
105	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	5		権利擁護の推進	1	成年後見制度の利用促進	5 成年後見制度利用支援事業の推進	報酬助成人数		26	10	確定		高齢者支援係	
105	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	5		権利擁護の推進	1	成年後見制度の利用促進	6 社会福祉協議会との連携							高齢者支援係	
105	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	5		権利擁護の推進	2	虐待防止に向けた取組み強化	1 虐待防止のネットワーク体制の構築		B				定期的に会議を開催し体制構築に向けて、協議検討を重ねている。	高齢者支援係	
106	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	5		権利擁護の推進	2	虐待防止に向けた取組み強化	2 関係機関の相談・支援体制の整備及び連携強化		B				年1回研修会を開催し、関係機関の連携強化を図った。	高齢者支援係	
106	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	5		権利擁護の推進	2	虐待防止に向けた取組み強化	3 虐待防止に関する普及啓発		B				虐待防止に関する周知や研修会への参加を促した。	高齢者支援係	
106	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	5		権利擁護の推進	2	虐待防止に向けた取組み強化	4 介護サービス事業所への協力依頼		B				虐待防止に向けて早期発見、相談等の協力依頼を継続している。	高齢者支援係	
107	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	6		安心・安全に暮らせる環境づくり	1	高齢者向け住宅の充実	0 高齢者向け住宅の充実						有料老人ホームの建設計画が事業者からあったが、資材価格高騰等の影響で撤回された。	地域包括ケア係	
108	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	6		安心・安全に暮らせる環境づくり	2	高齢者見守りネットワーク	0 高齢者見守りネットワーク						令和6年4月に既存事業所に再度周知を図った。今後も周知を図っていく。	地域包括ケア係	
109	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	6		安心・安全に暮らせる環境づくり	3	介護サービス事業所への防災意識の啓発	0 介護サービス事業所への防災意識の啓発		B				運営指導を通じ各事業所のマニュアル等を確認した。	地域包括ケア係	
109	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	6		安心・安全に暮らせる環境づくり	4	災害対策に係る体制整備	0 災害対策に係る体制整備		B				取組内容：福祉避難所開設訓練（R7.11.29実施）、水谷東地域非常災害対応訓練（兼水谷東小学校区防災訓練）（8.3.29実施予定） 今後の課題：福祉避難所開設訓練を実施するにあたり、関係団体と調整が必要	地域包括ケア係	危機管理課
109	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	6		安心・安全に暮らせる環境づくり	5	災害時における高齢者への支援	0 災害時における高齢者への支援		B				避難行動要支援者支援事業において、災害発生時に支援が必要な高齢者や障がい者の方などに対して、安否確認や情報の提供、避難誘導など、地域での助け合いを進めるための仕組みづくりに取り組んだ。 今後の課題としては、避難支援者の担い手が不足しているため、担い手になり得る地域住民などに対して事業の周知と意識啓発を行い、支援の輪を広げる必要がある。	地域包括ケア係	福祉政策課
109	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	6		安心・安全に暮らせる環境づくり	6	感染症対策に係る体制整備	0 感染症対策に係る体制整備		B				運営指導を通じ各事業所のマニュアル等を確認した。	地域包括ケア係	健康増進センター
110	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	6		安心・安全に暮らせる環境づくり	7	高齢者の居住安定に係る施策他計画との連携	0 高齢者の居住安定に係る施策他計画との連携		B				埼玉県住まい安心支援ネットワークの会議に参加	地域包括ケア係	建築指導課
110	2	住み慣れた地域で安心・安全な生活が続けるために	6		安心・安全に暮らせる環境づくり	8	住宅確保要配慮者に係る施策との連携	0 住宅確保要配慮者に係る施策との連携		B				埼玉県住まい安心支援ネットワークの会議に参加	地域包括ケア係	建築指導課

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組 (大)	取組 No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度 の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
111	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	1		お互いの支えあいの推進	1	生活支援コーディネーター活動の充実	0	生活支援コーディネーター活動の充実	活動回数	B	1,500	253	確定	令和6年度より、社会資源の把握及びニーズ調査等を行い、住民主体のサービス創出に向けた活動を中心に行った。また地域ケア個別会議等において、社会資源に関する助言を行った。	地域包括ケア係	
111	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	1		お互いの支えあいの推進	1	生活支援コーディネーター活動の充実	0	生活支援コーディネーター活動の充実	第1層相当		1,000	151	確定	令和6年度より、社会資源の把握及びニーズ調査等を行い、住民主体のサービス創出に向けた活動を中心に行った。また地域ケア個別会議等において、社会資源に関する助言を行った。	地域包括ケア係	
111	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	1		お互いの支えあいの推進	1	生活支援コーディネーター活動の充実	0	生活支援コーディネーター活動の充実	第2層相当		500	102	確定	令和6年度より、社会資源の把握及びニーズ調査等を行い、住民主体のサービス創出に向けた活動を中心に行った。また地域ケア個別会議等において、社会資源に関する助言を行った。	地域包括ケア係	
112	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	1		お互いの支えあいの推進	2	協議体の継続的な開催	0	協議体の継続的な開催	第1層協議体	B	3	2	確定	会議を1回、研修会（おとなりフェス）を1回開催した。	地域包括ケア係	
112	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	1		お互いの支えあいの推進	2	協議体の継続的な開催	0	協議体の継続的な開催	第2層協議体		20	12	確定	各地域の課題を解決するための方法、手段を検討し、移動販売のルート再検討等を行い、新たな地域での実施についても検討を行った。	地域包括ケア係	
112	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	1		お互いの支えあいの推進	3	生活支援サービスの創出に向けた連携	0	生活支援サービスの創出に向けた連携		B				住民主体のサービス創出に向けた啓発等を行った。	地域包括ケア係	
113	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	2		社会参加の促進	1	介護支援ボランティアポイント事業の推進	0	介護支援ボランティアポイント事業の推進	登録人数	B	380	140	確定	登録説明会を毎月実施した。広報に毎月記事を載せるように工夫したところ、登録説明会の参加者が増加した。 ポイントを付与する対象者をコロナ前に戻したことにより実績値が低くなっている。	健康増進センター	
113	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	2		社会参加の促進	2	パワーアップ・リーダーの養成	0	パワーアップ・リーダーの養成	回数	B	16	14	確定	2会場で養成講座を実施し、新たに2クラブ開設できた。引き続き、町会等に働きかけ新しいクラブを開設していく。	健康増進センター	
113	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	2		社会参加の促進	2	パワーアップ・リーダーの養成	0	パワーアップ・リーダーの養成	延べ人数		160	284	確定		健康増進センター	
114	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	2		社会参加の促進	3	高齢者の就業への支援	0	高齢者の就業への支援		B				高齢者も含めた全世代向けの就職支援講座を実施し、関係機関が実施する高齢者向けのセミナーや技能講習等の情報周知を行った。内職相談においても高齢者の相談に対応し、適切な内職提案及び事業所紹介を行い高齢者の就業支援に努めた。 今後も連携機関と情報共有をし、適宜その方のケースに合った情報提供を継続する必要がある。	地域包括ケア係	(産業経済課)
114	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	2		社会参加の促進	4	市民人材バンク制度の活用	0	市民人材バンク制度の活用	登録件数	B	240	245	確定	市民人材バンク推進員の会と協働の広報活動等により、利用件数や新規登録者の増加しており、地域人材の活用につながっている。しかし登録者の高齢化による登録削除も増えているため、令和8年度の登録更新確認の際に登録者が減ってしまう可能性が高い。	地域包括ケア係	生涯学習課
114	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	2		社会参加の促進	4	市民人材バンク制度の活用	0	市民人材バンク制度の活用	利用件数		200	292	確定		地域包括ケア係	生涯学習課
114	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	2		社会参加の促進	4	市民人材バンク制度の活用	0	市民人材バンク制度の活用	延べ利用人数		8,400	13482	確定		地域包括ケア係	生涯学習課

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組 No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度 の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
115	3	お互いが支えあい、生きいき と生活を送るために	2		社会参加の促進	5	0	アクティブシニアの活躍推進						具体的な活動はあまりできなかった。60～70歳代は昨今の経済情勢により働いている方も多くなり、またステレオタイプ化したシニア観とは異なる方も多い。令和7年度は、第2期基本計画の策定に向け、庁内で生涯学習課や協働推進課等を含め議論を行っていく必要がある。	地域包括ケア係	
115	3	お互いが支えあい、生きいき と生活を送るために	2		社会参加の促進	6	1	ふじみ在宅福祉サービスセンター						地域支援事業実施要綱の改正に伴い、様々なボランティアが地域支援事業の生活援助を担うことできるようになり、基準も大幅に緩和された。このため、地域支援事業として社協のふじみ在宅福祉サービスセンターを実施できないか、引き続き社協と検討を行っていく。	地域包括ケア係	
115	3	お互いが支えあい、生きいき と生活を送るために	2		社会参加の促進	6	2	ボランティア活動の活性化支援						社会福祉協議会の広報を通じて周知を行った。	地域包括ケア係	
116	3	お互いが支えあい、生きいき と生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	1	1	鶴瀬学級	高齢者学級受講者（男）			28	確定	6回の教養講座と月2回程度の学級活動。教養講座の内容は回によって異なり、防災や歴史に関する講演・音楽鑑賞など。課題は運営委員のなり手不足や高齢化による学級性の減少。	地域包括ケア係	鶴瀬公民館
116	3	お互いが支えあい、生きいき と生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	1	1	鶴瀬学級	高齢者学級受講者（女）			85	確定		地域包括ケア係	鶴瀬公民館
116	3	お互いが支えあい、生きいき と生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	1	2	なんばた学級	高齢者学級受講者（男）	B		13	確定	生きがいつくりの機会を提供するため、全体学級（月1回）とクラブ活動、学級だよりの発行を行った。受講者の固定化と超高齢化の傾向がみられる。	地域包括ケア係	南畑公民館
116	3	お互いが支えあい、生きいき と生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	1	2	なんばた学級	高齢者学級受講者（女）			50	確定		地域包括ケア係	南畑公民館
116	3	お互いが支えあい、生きいき と生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	1	3	水谷学級	高齢者学級受講者（男）	B		9	確定	学習意欲の向上や仲間づくりの一助として、全体会（年5回）と各種サークル活動（月1～2回）を実施した。課題は、参加者の減少と講師の人手不足。	地域包括ケア係	水谷公民館
116	3	お互いが支えあい、生きいき と生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	1	3	水谷学級	高齢者学級受講者（女）			60	確定		地域包括ケア係	水谷公民館
116	3	お互いが支えあい、生きいき と生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	1	4	熟年学級	高齢者学級受講者（男）	B		7	確定	60歳以上の高齢者を対象に、身近な話題による学び合いや受講生相互の交流を図ることを目的に実施している。男性受講者や60歳代の受講者を増やすことが今後の課題である。	地域包括ケア係	水谷東公民館

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組 (大) No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
116	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	1	学習機会の充実	4 熟年学級	高齢者学級受講者（女）			51	確定		地域包括ケア係	水谷東公民館
116	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	1	学習機会の充実	5 水曜学級	高齢者学級受講者（男）	S		27	確定	60歳以上の方を対象に生涯学習講座やサークル活動などを通して親睦を深め、心身ともに健康で生きがいのある充実した生活を送る事を目的に実施した。 9サークル活動(パワーアップ体操、レクダンス、コーラス、健康体操、絵画、書道硬筆、生け花、脳トレ麻雀、卓球) 今後の課題としては、各サークルの運営委員(代表)が選出されない傾向にある。更に受講生の減少を食い止める方法の検討。関係課との連携については、全体会(毎月1回テーマを決めて実施)でのテーマに沿った講師の派遣、関係資料の提供等の調整。	地域包括ケア係	鶴瀬西交流センター
116	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	1	学習機会の充実	5 水曜学級	高齢者学級受講者（女）			91	確定		地域包括ケア係	鶴瀬西交流センター
116	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	1	学習機会の充実	6 ふじみ野じゅく	高齢者学級受講者（男）	S		99	確定	「ふじみ野じゅく」年間を通して共に学び合い、交流を深めることを目的に、様々な事業を月1回開催、幅広い年齢層の方が参加した。引き続き周知の工夫を図り、参加者を増やす。	地域包括ケア係	ふじみ野交流センター
116	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	1	学習機会の充実	6 ふじみ野じゅく	高齢者学級受講者（女）			241	確定		地域包括ケア係	ふじみ野交流センター
117	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	2	デジタルデバйд対策	0 デジタルデバйд対策						【水谷公民館】株式会社ソフトバンクの職員を講師に招き、スマホ初心者を対象に講座を実施。課題は、内容の検討と新たな参加者の獲得。(10回73人) 【水谷東公民館】 デジタルディバйд対策として、企業の協力によるスマートフォン講座等を実施し、地域住民のIT活用向上を図ることを目的に開催している。二次元コードから講座の申込ができるようにすることで、参加した高齢者が積極的にスマートフォンを利用することにつながった。また、親子世代に対する講座も開催することで、幅広い年代に対してデジタル活用の支援をすることができたが、参加者の固定化が課題である。もっと多くの地域住民に受講してもらえるよう、工夫する必要がある。 【南畑公民館】 ソフトバンクのスマートフォン体験教室の提案を受け、「はじめてのスマホ講座」をデジタルデバйд対策として20名程度の定員で3回開催	地域包括ケア係	(ICT推進課・各公民館)
117	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	3	老人福祉センターの利用促進	0 老人福祉センターの利用促進	利用人数	C	26,000	21038	確定	自主事業の頻度、活動の幅を広げて実施しましたが、新規利用者、団体の大幅な増加にはつながらることができず、前年と横ばいの利用者数となりました。	庶務係	
117	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	3	老人福祉センターの利用促進	0 老人福祉センターの利用促進	開館日数		290	294	確定		庶務係	
118	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	4	老人クラブ活動・サークル活動の支援	0 老人クラブ活動・サークル活動の支援	クラブ数	C	21	17	確定	役員のなりて不足や会員の高齢化による活動機会の減少を理由に脱会が継続してある状況です。今後もクラブ数の減少が続く恐れがあります。	庶務係	
118	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	3	◎	生きがいつくりの推進	4	老人クラブ活動・サークル活動の支援	0 老人クラブ活動・サークル活動の支援	利用人数		970	679	確定		庶務係	

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組 (大) No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度 の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
118	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	3	◎	生きがいづくりの推進	4	0	老人クラブ活動・サークル活動の支援 (内男性)			385	251	確定		庶務係	
118	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	3	◎	生きがいづくりの推進	4	0	老人クラブ活動・サークル活動の支援 (内女性)			585	428	確定		庶務係	
118	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	3	◎	生きがいづくりの推進	5	0	高齢者サロンへの支援		B					庶務係	
119	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	4		介護人材確保と介護現場の生産性向上のための取組み	1	0	介護職員初任者研修の継続的な開催 修了者数		B	24	21	確定	受講生は24名いたが、自己都合（本人・家族の体調不良）により途中でリタイアとなった。	地域包括ケア係	
119	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	4		介護人材確保と介護現場の生産性向上のための取組み	1	0	介護職員初任者研修の継続的な開催 市内事業所への就職者数			16	8	確定		地域包括ケア係	
120	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	4		介護人材確保と介護現場の生産性向上のための取組み	2	0	入門的研修の継続的な開催 修了者数		C	20	11	確定	20人の定員を設けたが最終的には11人の修了となった。埼玉県が同様の研修をオンラインで開催しており、また無料で受講可能のため来年度は実施無し。	地域包括ケア係	
120	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	4		介護人材確保と介護現場の生産性向上のための取組み	2	0	入門的研修の継続的な開催 市内事業所への就職者数			3	0	確定		地域包括ケア係	
120	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	4		介護人材確保と介護現場の生産性向上のための取組み	3	0	介護人材の確保・育成・定着につながる取組み		B				入門的研修及び初任者研修を継続的に開催し、また、埼玉県が実施している介護人材確保・定着に関する情報を市ＨＰへの掲載や介護事業所に情報提供などを行うことで連携を図っている。	地域包括ケア係	
121	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	4		介護人材確保と介護現場の生産性向上のための取組み	4	0	生産性向上に資する取組み		B				昨年度に引き続き電子申請を可能としている。たま、令和8年1月より様式の平準化に対応した。	地域包括ケア係	
121	3	お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために	4		介護人材確保と介護現場の生産性向上のための取組み	5	0	働きやすい環境づくりに資する取組み		E				介護事業所における複数人での訪問における報酬整備については、市全体の実施計画の兼ね合いにより提案できなかった。	地域包括ケア係	
122	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	1	0	介護予防サービス 介護予防サービス給付費合計		B	124,761	120,477	確定	計画値の範囲内であった。	地域包括ケア係	
123	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	2	0	居宅サービス 居宅サービス給付費合計		B	4,100,945	3,875,670	確定	計画値の範囲内であった。	地域包括ケア係	
124	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	3	1	地域密着型サービス 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	給付費	B	40,799	38,119	確定	計画値の範囲内であった。	地域包括ケア係	
124	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	3	2	地域密着型サービス 地域密着型通所介護	給付費	B	205,529	195,115	確定	計画値の範囲内であった。	地域包括ケア係	
124	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	3	3	地域密着型サービス 認知症対応型通所介護	給付費	B	120,425	70,117	確定	計画値の範囲内であった。	地域包括ケア係	
125	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	3	4	地域密着型サービス 小規模多機能型居宅介護	給付費	B	198,438	190,424	確定	計画値の範囲内であった。	地域包括ケア係	
125	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	3	5	地域密着型サービス 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	給付費	B	293,626	275,503	確定	計画値の範囲内であった。	地域包括ケア係	
125	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	3	6	地域密着型サービス 地域密着型介護老人福祉施設（地域密着型特別養護老人ホーム）	給付費	B	384,481	377,684	確定	計画値の範囲内であった。	地域包括ケア係	
125	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	3	7	地域密着型サービス 看護小規模多機能型居宅介護	給付費	B	0	0	確定	看護小規模多機能型居宅介護を公募したが、応募がなかった。	地域包括ケア係	
125	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	3	8	地域密着型サービス 夜間対応型訪問介護	給付費	B	0	0	確定	実績はなかった。	地域包括ケア係	
127	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	4	1	施設サービス 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	給付費	B	1,432,299	1,325,881	確定	計画値の範囲内であった。	地域包括ケア係	
127	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	4	2	施設サービス その他	給付費	B	1,321,415	1,237,522	確定	計画値の範囲内であった。	地域包括ケア係	
128	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	5	0	標準給付見込額 標準給付額合計		B	8,702,794	8,141,214	確定	計画値の範囲内であった。	地域包括ケア係	
128	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	6	1	地域支援事業費 介護予防・日常生活支援総合事業	給付費		186,336	146,789	確定	計画値の範囲内であった。	地域包括ケア係	

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組 (大) No	取組 No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度 の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
128	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	6	地域支援事業費	2	包括的支援事業、生活支援体制整備事業	給付費		179,738			来年度より重層的支援事業として一般会計へ移行。	地域包括ケア係	
129	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	1		各サービス別の実績及び今後の見込み	6	地域支援事業費	3	その他							地域包括ケア係	
130	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	2		介護保険料の見込み	1	介護保険料基準月額	0	介護保険料基準月額						財政推計については、給付額は推計の範囲内であり、保険料収入も必要な額を歳入できている。今後も収支状況を注視していく。	地域包括ケア係	
131	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	2		介護保険料の見込み	2	所得段階別介護保険料	0	所得段階別介護保険料						令和6年度から15段階となるため、リーフレットやHPを通じ周知を図った。低所得者だけでなく、中間所得層の平準化を図ったことは、市民から高く評価された。8年度は高齢者の所得分布を調査研究し、適切な調整率や所得段階のありかたを検討していく。	地域包括ケア係	
132	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	2		介護保険料の見込み	3	今後の介護保険料水準の見通し	0	今後の介護保険料水準の見通し						近隣と比較しても遜色ない保険料であり、保険料収入も必要な額を歳入できている。次期改定に向けての課題としては、級地区分の見直しに連動した保険料の変更があげられる。	地域包括ケア係	
133	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	3	◎	円滑な運営に資する取組み	1	介護サービスの質の向上	0	介護サービスの質の向上	事業所数		16	12	確定	令和6年4月に開設されたグループホーム及び居宅介護支援事業所を1件ずつ追加したため、2件追加した。	地域包括ケア係	
133	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	3	◎	円滑な運営に資する取組み	2	総合的なサービスの提供	0	総合的なサービスの提供						医療・介護・地域資源情報提供システムを稼働し、総合的な情報提供体制を整えた。	地域包括ケア係	
134	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	3	◎	円滑な運営に資する取組み	3	地域医療構想との整合性の確保	0	地域医療構想との整合性の確保						退院後の医療的ケアの必要な方の増加を見通し、看護小規模多機能型居宅介護の整備に向け、公募要項の作成を行ったが応募がなかった。令和8年度についても、公募を行うとともに地域密着型特別養護老人ホームについても公募を行う。	地域包括ケア係	
134	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	3	◎	円滑な運営に資する取組み	4	介護保険料収納率の向上及び納付環境の整備	0	介護保険料収納率の向上及び納付環境の整備	普通徴収分	S	93.50	97.00	見込	収納については、令和7年度はこれまでの取組みに加えて、年度当初から累積滞納者への差押予告書の送付を行うなど、速やかな催告と滞納処分を実施した結果、計画を上回る収納率となった。令和8年1月に開始したコンビニ収納も、収納率の向上に寄与した。今後、滞納処分に係るノウハウを後任にしっかりと引き継いでいくことが課題となる。	介護保険係	
134	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	3	◎	円滑な運営に資する取組み	4	介護保険料収納率の向上及び納付環境の整備	0	介護保険料収納率の向上及び納付環境の整備	滞納繰越分		42.00	60.17	確定		介護保険係	
135	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	3	◎	円滑な運営に資する取組み	5	低所得者対策の充実	1	低所得者に対する介護保険料の軽減		B				引き続き、国の示す標準に従い、低所得者保険料軽減を実施した。	介護保険係	
135	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	3	◎	円滑な運営に資する取組み	5	低所得者対策の充実	2	介護保険料の減免制度		B				急激な物価変動に対応するため、令和6年4月に改正を行った富士見市介護保険料減免基準に基づいて、減免制度を運営した。	介護保険係	
135	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	3	◎	円滑な運営に資する取組み	5	低所得者対策の充実	3	介護保険サービス利用者負担助成	件数（年間）	B	8,564	7,280	確定	令和8年1月にシステム入替を行い、運用を確保した。今後、助成割合の変更や一定額未満を不支給とするなどの見直しを検討する必要がある。	介護保険係	
135	4	介護保険事業を継続的に運営していくために	3	◎	円滑な運営に資する取組み	5	低所得者対策の充実	4	社会福祉法人等による低所得者に対する利用者負担軽減制度		B				昨年度HPの更新を行ったが、未参加の社会福祉法人への積極的な姿勢を促すことはできなかった。	介護保険係	

記載 ページ	基本 方針 No	基本方針	施策 No	重点	施策	取組 (大) No	取組 No	取組	KSF(目標値) 又は推計値	進捗評価	令和7年度 計画値	令和7年度 実績値	確定/見 込	令和7年度 の取組内容と今後の課題	担当係	庁内連携課
136	4	介護保険事業を継続的に運営 していくために	3	◎	円滑な運営に資する取組み	6	0	認定調査及び介護認定審査会の 効率的な実施及び運営		A				認定調査員について、10～11名の体制を維持し ていくことが課題である。認定審査会委員につ いてはなり手不足が大きな課題であるところ、 WEB判定や電子データでのやり取りに資するよ う、認定審査会資料のペーパーレス化について 令和8年度予算として認定を受けた。	介護保険係	
136	4	介護保険事業を継続的に運営 していくために	3	◎	円滑な運営に資する取組み	7	0	介護サービス情報公表システム 等による情報の公表						市HPで介護サービス情報公表システム等による 情報の公表を行った。	地域包括ケ ア係	
136	4	介護保険事業を継続的に運営 していくために	3	◎	円滑な運営に資する取組み	8	0	介護サービス等の情報提供		B				令和7年度はパンフレットを3,000部印刷し、 年度中に3,000部すべてを配布する見込みであ る。8年度以降は多めに作成予定である。	介護保険係	
137	4	介護保険事業を継続的に運営 していくために	4		介護給付費の適正化の推進	1	0	要介護認定の適正化・平準化		B				令和7年度は介護認定審査会研修会に7名の委 員が参加した。また、埼玉縣の実施する模擬判 定では、中央値となる要介護度と乖離の見られ る判定会に対し、結果を周知することで判定の 平準化につながるよう努めた。	介護保険係	
137	4	介護保険事業を継続的に運営 していくために	4		介護給付費の適正化の推進	2	0	ケアプランの点検	事業所数	B	4	3	確定	R7年度に運営指導実施予定であった事業所が R5年度中に休止となり、再開をしなかったため 計画値を下回った。	地域包括ケ ア係	
137	4	介護保険事業を継続的に運営 していくために	4		介護給付費の適正化の推進	2	0	ケアプランの点検	点検プラン数	B	96	91	確定	R7年度に運営指導実施予定であった事業所が R5年度中に休止となり、再開をしなかったため 計画値を下回った。	地域包括ケ ア係	
138	4	介護保険事業を継続的に運営 していくために	4		介護給付費の適正化の推進	3	0	住宅改修・福祉用具の点検		B				住宅改修や福祉用具の購入に際し、ケアマネ ジャー等から詳細な内容を確認することによ り、適切な工事や福祉用具の購入が行われてい るかなどの点検を行っている。	地域包括ケ ア係	
138	4	介護保険事業を継続的に運営 していくために	4		介護給付費の適正化の推進	4	0	縦覧点検・医療情報との突合	点検帳票数	B	6	6	確定	国保連の帳票を用いて請求内容の分析を行い、 適正な給付に努めた。	地域包括ケ ア係	

評価	評価内容
S	非常によくできた・目標を大きく超えた・計画初年（令和6年度）に実現できた
A	よくできた・目標を超えた
B	ふつう・できた・目標どおり
C	あまりできなかった・目標を少し下回った
D	ほとんどできなかった・目標を大きく下回った
E	できなかった・実績がない